

ネット上の偏見・差別について考える学習活動体系

【大阪府教育庁 R6.9月版】

目標		ネットを活用するにあたって、自分の人権を守り、他者の人権を守るための実践的行動力を育成する					
校種		小学校		中学校			
学年		1・2年生	3・4年生	5・6年生	1年生	2年生	3年生
ネット上の偏見・差別について考える学習活動	つけたい力	A ネットは便利だけでなく怖さもあることを知る B ネット上のいろいろな情報は本当ではないものもあることを知る	A ネット上で情報を正しく伝達することの難しさを知る B 自分の情報や友だちの情報を守る大切さについて知り、大切にしようとする姿勢を持つ	A 情報を発信する際の、相手や社会への配慮や責任について知る B ネット上で守られるべき人権について知り、守ろうとする姿勢を持つ C ネット上の情報について、常に本当かどうかを考え判断する	A ネット上で発言、発信する際の社会的責任について理解し、責任を持って行動する B ネット上の情報を批判的に捉え、間違いや偏見・差別を見抜く習慣を身につける C ネット上でそもそも自らが差別的行為をせず、自他の人権を守り差別をなくすために具体的に行動する		
	具体的内容	A ネットでは世界中の人とつながることができることを知る イ ネットにあることは世界中の人が見ることができ、簡単に消せないことを知る ウ ネットを使う時は、大人と一緒に使うようにする エ 一人で使う時は、見るだけにして書き込みはしない約束を守る（フィルタリングしている時に限る）	A 文字だけの情報では誤解されることがあることを知る イ 自分が書いたことが他人へ与える影響について知る ウ 書いていることや話されていることについて、本当かどうか確かめる方法を知る エ 事実とは違うことや自分のことを勝手に書かれたり言われたりすることでのどのような気持ちになるか考える	A 自分が書いたことが社会へ与える影響について知る イ 国内におけるネット上の規制等に関する法律について知る ウ ネットを活用するにあたって、自分を守る具体的な方法を知る エ 無責任な情報の発信等によって、ネット上で誹謗・中傷をされた被害者の立場に立つて考える	A ネット上の具体的な差別事象を知る イ 国内外におけるネット上の規制等に関する法律を知る ウ ネット上の偏見や差別に対して、具体的に生きていく方法を知る エ ネット上の誹謗・中傷に対してさまざまな立場に立つて考え、自分に関わりのあることとしてとらえる オ ネット上で出自をさらされるなど差別を受けた人の気持ちについて考える カ ネット上で人権を侵害されながらも差別をなくそうとする人の気持ちを考える キ ネット上の情報に対して、様々な意見を調べた上で自分の考えを持つ習慣を身につける ク 不適切な情報から自分だけでなく、他者も守ることができる具体的な方法を身につける ケ ネット上の偏見・差別を見抜き、自分に関わりのあることとしてとらえ、なくしていくための具体的な方法を身につける		
	教材	・メッセージアプリ（SNS など）のつかいかたについてかんがえよう －人権局啓発冊子「みんなとちがち」を活用して－ 【指導のてびき】【教材1】【教材2】【ワークシート】	・メッセージアプリ（SNS など）での気持ちの伝え方を考えよう －人権局啓発動画「SNS でのすれちがひ」を活用して－ 【指導のてびき】【教材】【ワークシート】	・メッセージアプリ（SNS など）での気持ちの伝え方を考えよう －人権局啓発動画「SNS の使い方をみんなで考えよう！」を活用して－ 【指導のてびき①】【指導のてびき②】【教材】【ワークシート】	・ネット上のヘイトスピーチをなくすためにできること －法務省人権啓発ビデオ「外国人と人権～違いを認め、共に生きる～」を活用して－ 【指導のてびき】【教材】【ワークシート】		

人権教育教材集・資料 (教職員専用サイト 要パスワード) 【H23.3】 (H28.10 更新)	・ いまだんまきもち ・ わたしらもよせて ・ どりあじやんげん ・ ボクとぼく	・ みんなでボカボカ ・ 感情のコントロール ・ クラスのエイメーは？ ・ 電子メールがきたよ	・ こんなときどうする ・ 【ことば】と【笑い】 ・ 好きなことはいろいろ ・ メールはむずかしい？	・ 私のもちあじ ・ どう伝えればいいでしょう ・ いじめはいろいろな ・ インターネットと人権
--	---	--	---	---

携帯・ネット上のいじめ等の対処方法プログラム (府教育庁) 【H21.3】(毎年更新) (R4.9 最終更新)	・ゲームを通じたコミュニケーションについて ・インターネットの正しい使い方を知る ・インターネットの便利さ（楽しいところ等）について知る ・インターネットの不便さ（悪いところ等）について知る	・SNS の危険性と正しい使い方を知る ・フィルタリングの必要性 ・インターネットへの情報発信 ・スマホ越しのコミュニケーション ・モラルを持って正しく使う ・ネットでいじめにあわないために	・ネットいじめの問題 ・写真・動画の取扱い ・ゲーム・ネットの依存症 ・ゲームの課金コンテンツ ・トラブルへの対処法 ・困ったときの相談先	・個人情報の取扱い ・問題となる書き込み ・著作権 ・位置情報サービス ・機能制限サービス ・書き込み・画像等の削除依頼
--	--	--	--	---

携帯・ネット上のいじめ等の防止資料（携帯・ネット上のいじめ等への対処方法プログラム（府教育庁））
[【対処方法プログラム】](#) [【デジタルコンテンツ集】](#) [【追加資料：ワード】](#) [【追加資料：PDF】](#)

【法務省】
[・インターネットトラブル事例集](#) 【R3.3】
[・SNS 等での誹謗中傷対策](#) 【R3.3】

【文部科学省】
 大阪府情報活用能力ステップシート（自立した学習者をめざして情報活用能力を系統的に育むための体系表（府教育庁））
[【ステップシート】](#) [【ステップシート：ページ分割版】](#) ※ページ分割版は、A4 両面印刷することで、冊子にすることができます。

情報モラル指導モデリカリキュラム 【H19.5】	情報社会の倫理	・約束や決まりを守る ・人の作ったものを大切にすることを心もつ	・相手への影響を考えて行動する ・自分の情報や他人の情報を大切にすること	・他人や社会への影響を考えて行動する ・情報にも、自他の権利があることを知り、尊重する	・情報社会における自分の責任や義務について考え、行動する ・個人の権利（人格権、肖像権など）を尊重する ・著作権などの知的財産権を尊重する
	法の理解と遵守		・情報の発信や情報をやりとりする場合のルール・マナーを知り、守る	・何がルール・マナーに反する行為かを知り、絶対に行わない ・「ルールや決まりを守る」ということの社会的意味を知り、尊重する ・契約行為の意味を知り、勝手に判断で行わない	・違法な行為とは何かを知り、違法だとわかった行動は絶対に行わない ・情報の保護や取り扱いに関する基本的なルールや法律の内容を知る ・契約の基本的な考え方を知り、それに伴う責任を理解する
	安全への知恵	・大人と一緒に使い、危険に近づかない ・不適切な情報に出合わない環境で利用する ・知らない人に連絡先を教えない ・決められた利用の時間や約束を守る	・危険に出合ったときは、大人に意見を求め、適切に対応する ・不適切な情報に出合ったときは、大人に意見を求め、適切に対応する ・情報には誤ったものもあることに気づく ・個人の情報は、他人にもらさない ・健康のために利用時間を決め守る	・予測される危険の内容がわかり、避ける ・不適切な情報であるものを認識し、対応できる ・情報の正確さを判断する方法を知る ・自他の個人情報、第三者にもらさない ・健康を害するような行動を自制する ・人の安全を脅かす行為を行わない	・安全性の面から、情報社会の特性を理解する ・トラブルに遭遇したとき、主体的に解決を図る方法を知る ・情報の信頼性を吟味できる ・自他の情報の安全な取り扱いに関して、正しい知識を持って行動できる ・健康の面に配慮した、情報メディアとの関わり方を意識し、行動できる ・自他の安全面に配慮した、情報メディアとの関わり方を意識し、行動できる
	情報セキュリティ		・認証の重要性を理解し、正しく利用できる	・不正使用や不正アクセスされないように利用できる ・情報の破壊や流出を守る方法を知る	・情報セキュリティの基本的な知識を身につける ・基礎的なセキュリティ対策が立てられる
	公共的なネットワーク社会の構築		・協力し合ってネットワークを使う	・ネットワークは共用のものであるという意識を持って使う	・ネットワークの公共性を意識して行動する

読解力 (学習指導要領・国語) 【H29.7】	・文章の中の重要な語や文を考えて選び出すこと ・場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像すること	・目的を意識して、中心となる語や文を見つけて要約すること ・登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わりや結び付けて具体的に想像すること	・目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けたり、論の進め方について考えたりすること ・人物像や物語などの全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりすること	・目的に応じて必要な情報に着目して要約したり、場面と場面、場面と描写などを結び付けて、内容を解釈すること ・文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えること	・目的に応じて複数の情報を整理しながら適切な情報を得たり、登場人物の言動の意味などについて考えたりして内容を解釈すること ・文章と図表などを結び付け、その関係を踏まえて内容を解釈すること ・観点を明確にして文章を比較するなどし、文章の構成や論理の展開、表現の効果について考えること	・文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの方や考え方について考えること ・文章の構成や論理の展開、表現の仕様について評価すること
-------------------------------	--	---	--	---	--	---